

○池谷委員長 ただいまより建設経済常任委員会を開会する。

議案の審査に入る。

当委員会に付託された議案は2件である。議第35号「令和元年度焼津市港湾事業特別会計補正予算（第5号）案」と議第37号「令和2年度焼津市港湾事業特別会計補正予算（第1号）案」を一括議題としたいと思うが、御異議はないか。（異議なし）

それでは、一括議題とし、当局の説明を求める。

（当局説明）

○池谷委員長 当局の説明に対し質疑・意見のある委員の発言を許す。

○須崎委員 私のほうから3点ほどお伺いいたします。

まず1点は、港湾改修費のところ、航路の埋設対策で浚渫するとお言葉があったと思いますけれども、浚渫というのはどういうものを浚渫するのか、その辺のところをお聞きします。

それから、2点目は、非常に前倒しをしてくるんですけれども、大井川港胸壁整備工事の令和2年度の進捗というのはどのくらいの進捗になるのか。

次に、3点目ですけれども、港湾施設の災害復旧とありますけれども、災害復旧事業の採択されるというか、そのような条件は、どうなっているのか、その3点をお伺いいたします。

○久保山大井川港管理事務所長 まず、1点目の港湾改修費の埋設対策のお尋ねでございます。

令和2年度、それに予定しております埋設対策としまして、いつも航路の部分で浚渫を行っているんですけれども、その航路の部分で維持管理するのは、船舶の入港に支障が出やすく、大井川の土砂がどうしても航路に巻き込まれてくるため、航路と大井川港のちょうど手前、接している部分について、ポケット的にそこを浚渫して、一時的にそこへ土砂をためて、航路に影響がないという形で事業をやっているというものでございます。それが埋設対策という、来年度から始まる新規事業でございます。

もう一点です。大井川港胸壁整備工事の令和2年度の進捗はどうかということでございます。令和2年度末で、今は230メートルまで終わらせる計画でおります。今年度末で約150メートルが終わりますので、来年度末は230メートル終わらせるという予定で動いております。

最後になります。災害復旧の採択要件はどんなものかということでございます。

一番重要になるのは、平均風速、秒ですけれども、15メートル以上というのがございまして、台風第19号のときに大井川港では19.2メートルという記録、10分間の平均で記録しております。港内部分で多いところで1.5メートルほど、土砂で港内部を少し埋めてしまったという、被災を受けたというような状況でございます。

以上です。

○須崎委員 分かりました。

○池谷委員長 質疑・意見を打ち切り、討論を許す。(なし)

◇採決の結果、議第35号「令和元年度焼津市港湾事業特別会計補正予算(第5号)案」は
全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

◇採決の結果、議第37号「令和2年度焼津市港湾事業特別会計補正予算(第1号)案」は
全会一致、原案のとおり可決すべきものと決定

○池谷委員長 以上で当委員会に付託されていた議案の審査は終了した。
これで建設経済常任委員会を閉会とする。

閉会(11:32)